令和8年

ガジョウ かわら版

第862号

2026年11月9日発行

三多摩食糧卸協同組合

11月

令和8年産米情報

農林水産省（10/28）自民党会合に、備蓄米の追加買い戻し方針や令和9/10年需給見通しを示す。正式には食糧部会を経て決定。

○ 令和8/9の主食用米等の需給見通し（玄米ベース）

		前回（9月2日）（万玄米ﾄﾝ）	今回（万玄米ﾄﾝ）		買戻し条件付き売渡しに係る追加買戻しを令和8/9に全量実施した場合（万玄米ﾄﾝ）	【参考】・長期計画的な販売支援（32万ﾄﾝ）・民間備蓄実証事業（6万ﾄﾝ）
令和8年6月末民間在庫量	A	速報値 243	確定値 243	速報値 → 確定値 242.7 → 242.5 <万玄米ﾄﾝ単位での変更無> ・生産者在庫（万玄米ﾄﾝ） 27.8 →27.4 ・民間在庫（万玄米ﾄﾝ） 214.9→215.1	確定値 243	<38> 32 6
令和8年産主食用米等生産量	B =C+D	最小値 735 中央値 745 最大値 754	741	令和8年9月25日現在の予想収穫量に更新	741	
うち生産者ふるい目幅以上	C	—	711		711	
うち生産者ふるい目幅未満のうち、主食用への供給見込量	D	—	30		30	
令和8/9年主食用米等供給量計	E =A+B	978～988～997	983		983	
令和8/9年主食用米等需要量	F	693～711	695～712	最新の人口推計やインバウンドの値を踏まえ更新	695～712	
政府備蓄米の買戻し	G	21	21		<31>	【参考】・民間備蓄実証事業（20万ﾄﾝ）を実施する方向で概算要求中 ・長期計画的な販売支援の期間延長を概算要求中
令和9年6月末民間在庫量	H =E-F-G	246～264～283	250～267		<240～257>	

R8/9年需給見通しの9月指針からの変更点。

■**8年産生産量は741万t**に更新　→9月25日現在の収穫量

■**需要量は695～712万t**に修正　→最新の人口推計やインバウンドを踏まえた

■**江藤米31万tの残10万tも買い戻す場合、来年（R9年）6月末在庫は240～257万t**　→過去最大は今年（R8年）の243万t

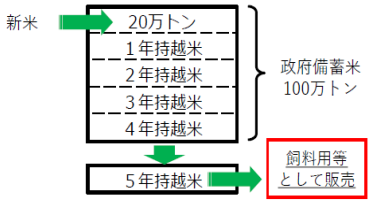
備蓄期間短縮へ

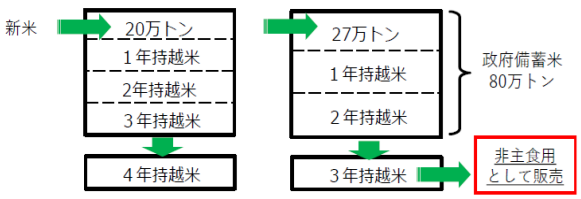
現　行

運営方式：棚上備蓄方式
備蓄水準：100万トン程度
備蓄期間：５年間
毎年買入数量：20万トン程度
売渡先：備蓄後に飼料用等の非主食用として販売

見直し後

運営方式：棚上備蓄方式
備蓄水準：80万トン程度（このほか民間備蓄20万トン程度）
備蓄期間：４年間又は３年間で検討
毎年買入数量：20万トン程度 又は 27万トン程度
売渡先：備蓄後に非主食用（※）として販売





※従来の飼料用等に加え、
年間買入数量の上乗せ分をはじめ、多様な売渡先を検討

現行の備蓄運営は棚上方式で20万t×5年分を備蓄しているが、**備蓄期間を3～4年間まで短縮**する方向で検討中。農水省は「**できれば3年間**」。民間備蓄20万tも考慮すると政府備蓄は80万t程度まで圧縮される。その場合、4年備蓄であれば政府買入・売渡数量は年20万tのままだが、**3年備蓄となれば年27万t程度まで拡大**し、従来の飼料用向け販売だけでは売渡が追い付かなくなる。そのため、農水省は**新たに米粉や輸出向けなどにも備蓄米の販売対象を拡げる**方針だ。

今週の玄米入荷情報

8年産

魚沼コシヒカリ

北海道ななつぼし

秋田あきたこまち

岩手ひとめぼれ前沢

宮城ササニシキ登米特栽

宮城つや姫登米特栽

千葉ふさおとめ